京城新報

●新聞代 [illegible]
●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一回金三十錢▲四號活字十四字詰一行金四十五錢
●陰曆　一月廿八日
發行編輯兼印刷人　山下[illegible]
京城西署西小門通
發行所　京城新報社　電話六六三番

暴徒潛入

一讀者

記者足下、

暴徒の良民を假裝して京城に潛入せるもの其の數今や殆んど千に遍しと傳へらる、是れ果して眞なるべき乎。

足下、予は不幸にして此の風說の全然虛誕ならざるを信せんと欲す。

何を以てか之れを道ふ、

韓民の群をなし、銃を擔ひ、劍を帶び村閭に出沒して人命を傷ひ、糧食金品を强請し去る故に之れを暴徒と云ふ、然れども今此の暴徒にして群を解き、劍を抛ち、銃を棄て、烟管を手にせば、所謂良民と相異せる點何處にかある、暴徒の我討伐隊及警察官の監視界を脫せんは斯くの如く易々たり、若し夫れ各地に蜂起せる暴徒が最後の目的我統監政治の手緩きを侮り、皇帝を挾んで天下に號令し、斯くして列國の干涉をまちアワよくば我日本の保護圏外に脫出し去らむとするはありとせば、巧みに佯りて帝都に其同志を潛入せしめ、勢を分ちて一は統監府を襲ひ、一は皇帝を誘致せんと企つるは有り得べき理にして、又最も行ひ易き良策たれば也。

由是觀之、暴徒多數京城に潛入せりと傳ふる道途の說は、決して漫に往者の臆測とのみ聞き流すべきにあらず。少くとも萬一の變に處する用意なかるべからざる也、惟ふに賢明なる當局者の胸中必ず已にこれに處する成竹あるべしと雖ども、予は軍隊解散當時（四十年八月一日）當局者が其の自惚れたる見解よりして見苦しき狼狽の狂態を暴露したりしに鑑み、甚だしく憂懼の念なき能はざるものなり。

記者足下、當局者の胸中此の用意ありと信ずるや否や。

韓國及び東南滿洲旅行談（續）

陸軍步兵大佐　小澤德平氏演說

そこで大分長くなりますので御聞き困しきことゝ存じますが、今回旅行を致しました地方に、韓國人が如何に配布されて居つたかと云ふ事に就て申上げたいのでございます、先づ名を附けますと「東南滿洲に於ける韓國移住民配布の情況と清國人が此移住民に對する干繫」とも申しませう、それで今此事實の梗概を明かにする爲に、第一上流地方、第二支流地方の二大區に分ち、第一上流地方を鴨綠江、これは其右岸帽兒山の頭道溝より廿一道溝に至るまで、松花江、これは頭道江、湯河、松江河、萬里河、二道江までに分ち、第二支流地方を渾江の流域と鴨綠江中流右岸の小支流に係る谷地線とに分ちます、全體地理的一般の範圍を概括して申すと、韓國移住民が滿洲內地に配布せる狀態に就き多くしては、北方松花二道江右岸の支流たる頭道流河から西南安平河口に至るの間が多いやうでありますが、今以上の順序によりて申しますと、第一上流地方で、其一の鴨綠江谷地線になりますが、御承知の如く韓半島を北に行き盡くしますと有名なる長白山ですが、其西に聳ゆるのを小聲白、東に聳ゆるのを大聲白と申します、其間の山上に龍玉潭と云ふ大なる湖水があります、是が白河の源でありまして娘々庫河と合して松花江に入る所の二道江となります、鴨綠、松花、豆滿の三水源も矢張其附近にあります、それが爲め山麓一帶は美はしき自然の林相を呈して、落葉松林が無慮二百方里に亘りて欝蒼として天を掩ふて居ります、從白山紀行、これは明治十九年の旅行で同二十一年の出版と記憶します、その紀行の著者英人「ゼームス」氏はこの自然の禁苑に於て尙は白衣戴冠の移住者を見たりと記して居ります、これより推しても韓人が自由の天地を求めて、曾てはその入國を禁ぜられたる滿洲の到る所に悠々自適の生涯を送つたと云ふ一端が察せられます、遺憾ながら此森林中にての移民配布の數字的統計は知り兼ねますが、前紀行著者が長白山より湯河に出づるまでに約一千の韓國移住者を算したと云つて居るのを基礎として、之を二十一年前のことゝしますと、其後は移住最も多かつた時期でありますから、今日では大に增加したであらうと思はれます。

史に轉じて鴨綠江谷地線になりますと、戰役の末年に陸軍省の命で林況視察に赴きました某林學士が、この上流地方を踏査しましたが、その報告書の中に帽兒山以東二十一道溝に至るまでの戶籍人口表がありますが頗る貴重なる資料でございます、その調査によりますと、韓國側には一人の清人が無いのに反して、帽兒山以東の各道溝の管流に沿ふて韓人が滿地に移住するもの約一千七百二十人で、總人口の殆ど四割に當つて居ります、今假りに國境を撤して兩岸の地を一丸めに見做したならば、韓人の滿人に超過するものが約五倍に達すると云ふ事實となります。

上流地方の松花江谷地線になりますと、自分の調査によりますと、移住韓人の戸數は合計百十五あります、當地方に於ける清國人の戸數より一倍半强に當つて居ります、其內譯で多いところは王八脖子前、小夾皮勾など云ふところでありますが、清國戸數より六倍を占めて居ります、少ないところで濛湯溝、大靑川の如きも尙は四割を占めて居ります、若し假りに一戸に付五人の家族がありとしたらば、全體の此區線に於ける移住者の人口のみでも五百七十五人の計算となります、數字上兎に角移住韓人が移住滿人より遙に優勢の位置に立つて居るのが判ります、前に戻りますが、臨江縣の帽兒山から北方に向ひまして、湯河に沿ひまして林の中を辿りますと、老爺嶺を踰ねて金坑のある處に出ます、これが即ち松花江畔に於ける唯一の溫泉場とも申すべき前湯の所在地です、滿洲內地の旅行者は御存知ですが、こゝで初て韓國移住民にチラ〳〵出遇ひます、それから北に向ひまするに從つて、白衣の韓人が三々五々松花江に沿ふて往來するのを認めます、ソレカラ北の方二道江の右岸頭道柳河に至るまでは、約二十里に亘れる江畔及大森林一帶の地方ですが、彼等の最も深く入込んでる區域でして、松花江の本流、東南頭道江畔の漫江と云ふ奧までも尙は五十戸程あるのを見ました、此附近多くの支流に沿ふた橫線內にも尙若干の移住民あることゝ察せられました、この縱橫線內にそきましての移住民に就て、土著の清國人の言と實際目擊しました情況とを照らして、一の比較表を揃へ置きました、後で御覧を願ひます。

地名	清人の戸數	移住韓人の戸數	比較割合
頭道柳河	一一	六	五割半
二道拉子北勾	三	二	六割半强
四道柳河	六	三	五割
烟筒拉子	三	六	四割半强
漢湯溝	一九	四	四割半弱
萬里河	三〇	二〇	六割半强
後崖子	五	四	八割
東川	七	六	八割半强
大甸子	三〇	二〇	六割半强
南甸子	一〇	八	八割
王八脖子前	一七	六	八割半强
玉八脖子後	一九	一〇	五割强
大靑川	九	四	四割半弱
王八脖子前	一	六	六倍
玉八脖子後	五	一〇	一倍强
大靑川	五	四	八割
小夾皮勾	一	六	六倍
前湯	二	六	三倍
香閩子	四	二	五割
合計	七二	一一五	一倍半强

昨年の列國造船

昨年（一九〇七年）中に於ける列國造船界の狀況を觀るに英、米、獨、和、日、佛の六大造船國は一昨年（一九〇六年）に於ける地位を其儘保續するを知るを得べし、蓋し此六ヶ國は實に世界造船の中心なるを認むべきと共に第二位を占むる米國と雖も英國に比すれば其差霄壤の如きものあるは數字の明證する所にして、英國が海上王の名を擅まゝにする事偶然に非ざるを諒すべきなり、今英國を除き他の諸外國の造船（軍艦及び商船一切を含む）を一括すれば其船數は千五百九隻噸數は百四十三萬二千五百八十九噸、實馬力百三十三萬五千四百五十八なるが故に之を一昨年の千二百七十七隻百三十四萬四千七百十五噸百三十二萬八千三百四十六馬力に比し其增加數は二百三十二隻八萬七千八百七十四噸一萬七千百十二馬力を示すものと謂ふべし、而して殊に增加の顯著なるものは我日本及び和佛伊の三國にして、米國は隻數に於て三十隻、噸數に於て八千九百五十八噸の減却を、獨逸國は隻數に於て百四十六隻の增加を噸數に於て三萬九千六百八噸の減却を示し、又英國も隻數に於て七百六十六隻の增加、噸數に於て九萬七千六百六十四噸の減却を見たるは一奇なり、左に昨年中に於ける列國造船の大要を掲ぐ（軍艦商船の一切を含む）

	新造隻數	噸數	實馬力
英本國	一、八二五	一、八四四、九六一	一、七三六、七六八
英國殖民地	一九九	三〇、三四四	一四、九三三
米國	一七七	四五五、七一三	三一四、八〇二
獨國	五〇七	三二一、一二二	二七九、〇九七
和蘭國	二三二	一四四、九九二	九九、五七〇
日本國	一四八	一二七、三五三	一八七、七六八
佛國	一五五	一二三、三四五	一七〇、九七〇
伊國	二六	八五、三七〇	一二四、四四〇
那威國	七四	五三、四二五	四三、四五〇
塊國	四七	四一、九八〇	六六、三三〇
丁抹國	四〇	三七、二八八	一五、〇二〇
露國	三二	二〇、七〇〇	四四、四〇〇
白國	四	一七、七二三	八、二五〇
瑞典國	三〇	一五、〇七	一六、五三五
西班牙國	一二	四、四四一	二、〇四〇
清國	三〇	四、八〇二	—
希國	一	一五〇	二六九

我日本國は一昨年に比し十一隻、三萬千六百二十噸の增加を見る

ステッセル裁判（六）

●●●●●●●クロパトキン將軍は尚續いて曰く

「ステッセルに對する本證人とアレクセーエフの信認の至當なりしとは十二月二日（十五日）コンドラテンコの死したる日迄に全く證明せられたり、此日に至る迄要塞は長き困難の時期を經驗したり、吾人は茲に旅順要塞が未だ完く落成に至らざりしことを記憶せざるべからず、然り三年間に於て要塞を築くを得ざりき、此の事を了解せんが爲にはシュルツ中佐の善美なる功勞を調査する丈にて十分なり、シュルツは曰く、旅順の範圍を以てすれば其の衛戍兵は十二萬九千人より編成せられざるべからずと、是れは勿論多數に過ぐるも、前回此處に據られたる五聯隊も餘りに少數なり、其の備を取りて二●●師團●●●●●●●●必要●●●何より大他の强國は旅順の運命に大關係を有したり。吾人は新式の大砲を供する能はざりき。舊式の大砲を取らんとすれば西の方本國の守備を薄弱にするの恐れあり、外國への注文は決定せられず、內國の工場は極めて微弱なりき。斯かる狀況に於て吾人は何處より大砲を取るを得べかりしや、然れども最も主なる不幸は、本證人と太守の許可なくして大連市を造營したる事なりき。大連は敵の根據地として現れたり。本證人は其の當時、旅順を清國に讓り、大連を賣渡し、吾人は專ら滿洲に據るべき必要を述べたり。然るに吾人は餘りに多く自己の力を賴み過ぎたり。又旅順より三箇師團を引去りたる事と、一月二十七日（二月九日）敵艦の襲擊後我が艦隊の痛く萎微したる事とは一層旅順防禦の任務を困難にしたり。然れども本證人は其の防禦が五箇月の間勇敢に遂行せられしことを茲に證明せざる可からず。遼陽戰爭の日、敵を擊退したりとのステッセルよりの公信は明かに滿洲の勇氣を鼓舞したり。軍隊は之を聞きつゝ『ウラー』を連呼したり。七月十七日（三十日）に至りて始めて區域の消滅すると共にステッセルの兼任も解かれたり。然れども當時ステッセルの報告は、衛戍兵の士氣勇壯にして斯かる防禦の局を見ことなきを證示したり。スミルノフ將軍はコンドラテンコの死する二週間前、旅順の困難に就て打電しつゝ、防禦者等が彼を要塞の發端に於て殺さんと謀れることを報告したり。十一月廿七日（十二月十日）コンドラテンコの死する僅かに五日前に於てすらステッセルは本證人に打電して『兵員は疲勞したりと雖も、士氣尚壯烈なり』と報じたり。吾人は彼處にステッセルを留置したることに於て何等惜むべき所なかりき。吾人は又同時に次の如き報告に接したり、曰く艦隊との反目は消滅して、艦隊はセバストーポリに於けるが如く、其の砲門彈藥、水兵及び將校を供與したりと。然れども、スミルノフ將軍よりステッセルは自分（スミルノフ）及び太守の許可なくして乃木大將と談判したりとの十二月十九日（一月一日）附の電信は降服に關する報告と同時に着したり。斯の如くにして勇敢なる防禦は終りを全うせざりき。終りに本證人は尚一言を添へん、若し命令を犯したるステッセル將軍にして、旅順の勇敢なる防禦を最後迄繼けしならんには今日の如き不[illegible]の問題は起らず、總ての者は彼れが祖國の名と英雄の面目とを發揮したることを承認せしなるべし是れ

と、クロパトキン將軍は其の證言を最も强く最も高く而して最も熱誠に終りたり。

立春

信天翁

葉枯せし柳の糸のみだるゝは
今日立つ春の風や吹くらん

小說　紋のみだれ（八十四）

永井櫻園

勇五郎は、清之助との相談の結果、早速赤阪田町の清糸を訪ふて、清之助の頼みと、自分の意見を述べて、清糸から大川へ半歲の延期を頼むで貰ふ事にした。清糸も利慾のために媒酌する氣になりはなつたものゝ清之助の頼を聞けば、有繋に人氣盛な弟子を、このまゝ廢業させずは、自分の勢力の盛衰に關はる心もするゆゑ、勇五郎の言ふがまゝに、大川に會つて斯樣々々と、詳しく事情を陳べて半歲の延期を訴へた所、表面では不勝々々に承知しながら、裏面では結句幸ひの事と、歡んだのである。何故と言ふに、豫て有ゆる手段を盡して運動しつゝあつた、韓國の鐵道敷設の受負が、運動の効を奏しからずして、其の手裡に落ちたゝめに渡韓しなければならない事に立至つたのである。謂は此の受負は大川が畢生の大事業で、身代を潰すも殖すも受負事業の成敗如何にあるので、戀ひ焦れた清之助ながら、なか〳〵悠々と結婚などして居られる場合でなくなつたのである。けれども、大川もさるもの、清糸に向つては飽くまで念を推し、

「師匠が間に入つて、此度六ケ月の後結婚すると云ふなら、待遠いけれど夫まで辛抱して待つて居るから、勇五郎にも其事を能く言ふて、必ず異約せんやうに念を推して置いて下さい。」

清糸は、頻と衣紋を繕ひながら、

「いやモウ、それは何から何までもございません、私が中に入つて居りますからは、其時左や右言はすやう事は致しません、勇五郎さんにも能く徒目を推して置きますが、旦那、モウこゝまで事が成就したのですから、清之助は貴方の奥様も同樣で、これからは、宅へちよく〳〵お遊に往つてやつて下さいまし、然うすれば勇五郎さんも歡びます、清之助もさぞ心易くなつて歡ぶ事でございませう。」

と、追從笑をする、大川は故と失望らしく

「今日か今日かと待に待つた返辭が、六ケ月先と云ふので、ガッカリして了つたから、內地に居つて永い間待受けるより、寧ろ一時朝鮮にでも往て遊んで來やうか。」

清糸は吃驚したやうに、

「はッ、朝鮮へお入來なさいますッて…」

「あゝ、內地に居つて指を折つて待つて居るのも隨分辛いから、少し彼地に目的もあるからかた〴〵遊に往つて來る事に爲やう。」

「ですけれど貴方、海の物とも山の物とも附かない内こそ氣も揉めますけれど、モウ斯う約束が整ひました上は、內地に居らしつてチョク〳〵お遊に入來ツしやる方が、却つて樂みではございませんか、那樣遠方へ入來ツしやると、私始め清之助も甚麼に便なくなるか知れやしません、どうぞア那樣事を仰やらないで暫く內地に居らしつて下さいまし、ございますから、なります事なら內地に居らして下さいまし。」

と、熱心に說く、大川は心中に冷笑ひつゝ

「マア、能く考へて見やう、若し往く事になると、默つて行くから、勇五郎にも清之助にも師匠から能く理由を話して置いて下さい。」

「那樣事仰やらないで、怨よ入來しやるなら私始めお見送り致しますから、是非それ聞かしなすつて下さいまし。」

「何の見送なんかして貰ふものか」

かくて、大川は一[illegible]韓國へ

京城新報

無益なる留學生

日本に於ける韓國留學生は今や殆ど六百餘名に達す、而して其成蹟や如何、立派に成業して錦を纏ふて故國に歸るもの稀也、韓國留學生は全然失敗にして、前途に於て一點の光明だに洞見し能はざる也、遠くは福澤諭吉氏之が養成を試みて失敗せり、亦た某老博士も之を試みて失望せり、其語る所を聞くに韓人未だ全く近世的の教育を受くる迄に發達し居らず、然ら吾人の見を以てすれば、渠等の頭腦は我鎌倉時代の程度に及はず、然るに物質的文明に接してより外部のみ發達し、所謂生意氣になり今や濟度すべからざるに至る、日本にありて其學ぶ所を見るに大抵政治法律に傾き、穩健着實に農商工の學を研究する者なきが如し、其政治法律を雖も專心研究すれば可なりと雖も、唯物質的文明に醉ひ、放蕩に身を持崩し、惡所に惑溺す、其得る處は日本の暗黑面を知悉するに止る也、斯の如くにして歸來するもの、生噛りに日本の暗黑面を知れるにより、之を誇張して排日說を吐くに至る、韓國留學生は双方に害ありて益なし斯る無用の長物に多くの費を投ずるの愚あらんや、

然るに近者聞く處に依れば、韓國政府は新たに八十名の學生を留學せしめんと、何人の發意なるか愚も亦甚しからずや、失敗の證驗々たるに、殊に國費多端の折柄、失敗を知りつゝ之を爲さんとは、既に常識を逸したる喰飯以上に價する愚擧ならざらんや之を要するに渠等が政治や法律をのみ學ばむとする如く、其思想が官憲萬能なり、此腐思想を打碎き額に汗して麵包を得ることの貴重なるを教へざる可らず、精神上の程度に於ては十二三世紀のものなり、其幼稚なる頭腦に近世の學術を會得せしめんとするは木に竹を接くよりも難し、夫れ之を察せずして更に留學生を送るが如きは餘に䟽ならずや、額に汗して麵包を得る、之れ渠等に教ゆ可き急務也、亦た渠等が存し服膺すべき信條也、

暴徒鎭壓の責は朝鮮に在り

我帝國は朝鮮を保護する權利として暴徒を鎭壓するの權利あり、然れども朝鮮も亦た之を鎭壓するの責任あり、稍もすれば李完用內閣は暴徒は統監府の責なりとのみ思ひ居るものゝ如し、然らざれば全國を擧げての內亂的狀態に對し乍ら未だ一妙案も盡さゞる筈なければ也、暢氣なる政府大臣なるかな、

韓人の冷笑は未來の洪水なり

近頃韓人來りて盛に暴徒の勢力を吹聽せり、そは之を鎭壓し得ざる日本人を冷笑するの吹聽也、

韓人程憐むべき國民にあらず、彼は其保護國たる日本が[illegible]暴徒の因を[illegible]傍觀し、日本人の努力を冷笑[illegible]に冷笑せるなり、斯く冷笑せる朝鮮人は[illegible]自ら保護國より脫線するの極端に自ら走るに至るべし

副統監の留守居役

曾根副統監の留守居役は新官制發布の一事のみ、何ぞ其れ太平なる、此しきの留守居役ならしめばワザ〳〵副統監を置く程も無し

北京電報

▲辰丸事件談判

林駐淸公使は一昨夜第二辰丸抑留事件に關し袁世凱及び那桐を訪ひ三時間に亙り嚴重の談判を試みたるに袁世凱は二三日熟考の後回答したしとて猶豫を請へり(二十八日發)

東京電報

▲間島の善後案

間島に對し支那政府に於て開放を實行したる場合は我政府に於ては艦隊を發し以て強制手段を採る筈なりと(二十八日發)

▲實業黨組織

增稅反對の全國商業會議所其他の實業家は近々實業黨なる一政黨を組織する筈也

▲武藤代議士處刑

代議士武藤金吾は家宅侵入罪により控訴院にて重禁錮一箇月十五日の判決を受けたり(以上二十七日午後發)

雜報

韓帝の下賜金

韓皇帝には來月十日日本陸軍紀念祭を聞召され金一千圓を韓國駐箚軍司令部に御下賜相成る旨仰せ出だされたり

義親王の歸京

義親王殿下は昨今夜南大門着御歸京せらるゝ筈なり

●安洞別宮城隍　太皇帝の移御せらるべき安洞別宮は既報の如く三月一日より之れが修理に着手せらるゝと同時に宮域を擴張することゝなり附近の民家を買收する筈なりと而して同宮內には景孝殿、懿孝殿、修源院をも建築せらるべしと

●皇族子弟の日本留學生　今回韓政府より派遣すべき日本留學生は約八、九名にて目下人撰中の由なるが皇族中よりも其子弟を派遣せんと此程慶熙宮に於て宗族會を開き協議する所あり遂に學部大臣李載崑氏の男兄弟完順君李載完氏の男、昌山君李海昌氏の男等を留學せしむることに決したりと又皇后の一門より三名を侍從院卿閔丙奭氏の門より三名を撰定したりと

●十萬圓の買上　李總理邸は宮邸として十萬圓にて買收の手續を了へたりと各大臣官邸六萬圓は財政の都合より否決したりと

●警部來任　南部警察署へ菊池武雄、秋[illegible]任せり因に菊池警部は陸軍[illegible]第一課に在勤し秋吉[illegible]は元東京警[illegible]

●太田支店長の快癒　第一銀行支店長太田三郎氏は過般來チブスに罹り自宅にて療[illegible]とのことなり

[illegible]人化したる金仁學なるものは此程歸國し目下蘇國總領事館に潜み居れりと

[illegible]大臣李允用、承[illegible]官尹澤榮、同尹德榮侍從院卿閔丙奭主殿院[illegible]

侍從院典醫洪在泉、承[illegible]運約德壽宮計百四十人[illegible]重なるは宮內大臣李允用[illegible]侍從長金春[illegible]

●天野喜之助氏(統監府理事官)　[illegible]

伊藤公の病狀

（梅毒の激發）

伊藤公の病氣は腸胃にありとか或は腸にありとか日々輕快しつゝありとか熱は去りたりとか種々異なりたる病狀は目下各新聞に依つて傳へられつゝあるが我社が昨日內地なる公の眤近者より接受したる報道によれば公の今回の病氣は年來體內に潜伏せる梅毒の激發したるものにてソレが爲身體の各部に故障を生じたるものなりと云ふ

●內部大臣の視察　內部大臣任善準氏は京城に於ける水道工事の現況を視察する爲め秘書官川立一郎技師、野務次郎氏等を隨へ近日出發する由なり

長官談話の取消し

統監府政府委員たる重責を帶びて目下上京中なる鶴原總務長官は過日東京朝日新聞に依つて韓國地方在住の邦人が暴徒より損害を被りたるは自業自得なるを以て一一賠償を爲すは不能なりとの意味の談話を公にしたるを以て記者は更に角去廿五日の本紙上にて一矢を酬ひ置たり然るに素々臆病なる鶴原氏は中々記者の蒙を啓かんとはせずして例の手を出し責任逃れの爲に東朝掲載の談話を取消したり

漢城衛生會

一昨日午後一時統監府に於て京城衛生會を開かれたり木內次官丸山總監藤田軍醫部長の諸氏出席したり

新教福音教會の教育事業

新教福音教會が過去廿三年間に漸次施設したる韓國に於ける教育事業の現況を聞くに

一、小學校　今日迄に設立したる小學校は全國を通じて四百五十校あり九千七百十九人の生徒を有し其の內凡二千人は女子なり將來韓國內殆んど二千に垂んとする教會の附屬として教育所在地に男兒小學校女兒學校各一校を設立する計畫にて今や其の進行中なるが學校數は年々著しく增加せり修業年限は六ヶ年とし必要なる教科書の完備と共に漸く其程度を高めたり一切是等學校舍の建築設備教師の俸給其他の經費は殆んど全部韓人の支出する所なり從來高等の小學校は其の地方に於ける兒童教育の唯一機關にして之を韓國在來の諸學校に比すれば方針一定して動かず且つ教授訓練の方法遙かに善良なるが故に大に信用を博し父兄は之を維持するために少しも其の出費を惜まざるに至れり

二、中學校　男子の中學校は全國に十一校あり其の韓人教師は外國宣教師と共に教授に與れるもの九校あり即ち京城に二校平壤、開城、順川、義州、元山、大邱、群山に各一校あり他の二校は黃州と龍川にありて兩者共に教師保護の下にあれども實際教授一任に當る者は韓人のみなりとす修業年限は三ヶ年にして別に一箇年の豫科を設けたり此の種の學校は進んで專門教育を受くる者のための豫備の教育を施すを以て目的とせり生徒の數は千二百六十六人にして近年入學生の多數は小學校の卒業生なり女子の中學校は京城に三、平壤、開城、順川、義州、元山、忠州に各一、合計九校ありて何れも外國宣教師教授の任に當れり生徒の向學心は極めて旺盛にして其の在學者今や方に五百に達せり

三、文藝專門學校　は平壤に一校あり明年を以て第一回の卒業生を出す筈なり現在學生の數は僅かに廿三名に過ぎざるも之れ未だ本校に入學するに必要なる中等學校を卒業したる者尠きがためなり

四、年齡既に長じて小學校に入學する事能はざる女子のために特殊學校及び練習科を設けて幾千の子女に讀書を教授する事とせり又男子のために設けたる依學校及び練習科にては啻に諺文のみならず漢字をも教授し進んで四ヶ年乃至六ヶ年修業年限學校に入學するの豫備教育を施せり

五、平壤に男女育兒のために各一校の育兒學校を設立して女兒のためには手藝を課し男兒にも亦技藝を課する計畫あり男女兒何れもブレイキの隆起文字を讀み得るに至れり

六、中等學校には木工、金工、印刷等の手藝を課する所あり又開城には宏大なる規模を以て農工私大學を設立するの計畫あり

七、師範科に於ては昨年迄に男女合せて五百人の教師を養成せり學科目は數學、地理、教育及び漢文なりとす

其の外在京城基督教青年會に於ても亦一層廣大なる計畫を以て教育事業に着手せんとすと云ふ

自衛團と基督教

自衛團と基督教に關しては屢々報導せる所なるが同又定州地方の狀況を聞くに同地方に於ては自衛團組織に對する基督教徒の反感日に增大し率先して組織勸誘に努めたる一進會員も此形勢を見て團員となるを躊躇するの狀あり東部面長康信德の如きは一進會員にして自衛團援護會定州部委員として奔走せるに拘らず自己の管理する面內に於てすら一人の團員をも募集する能はず若し強いて勸誘をなせば却つて騷擾を惹起する形勢なるを以て憲兵隊と協議し勸誘をなさゝる事となせりと云ふ

仁川電氣鐵道に就て

仁川電氣株式會社より出願せし仁川電氣鐵道敷設計畫に關して昨年二月二十九日其筋より同民團の意嚮を諮問し來りたるを以て直ちに答申したるに其後本件は同地各國居留地會の懸案に關し種々審議中なりしが愈々近日解決の運に至らんとするの模樣あるを以て其筋に於ては此際尙第一、線路區域及賃金の件第二、運轉回數の件等二事項に關し民團の意見を諮問し來りたるを以てつき民會に於て附議する筈なりと云ふ而して同會社の提出に係る線路區域賃金及運轉回數豫定計畫は左の如しと

區域及賃金　運轉狀況

全線を左の區域に分つ

市內線
一仁川停車場附近本町四丁目間
一本町四丁目桐峴停車場間(京城通りを經て)　一區
一本町四丁目敷島間(海岸通)　一區
一本町四丁目桐峴停車場(支那町を經て)　一區
仁川停車場より京城通を經て桐峴に至るを二區とす
仁川停車場より敷島に至るを二區とす

市外線
一敷島桐峴間　一區
一桐峴萬石洞間(觀測所下)　一區
一萬石洞仁川停車場間　一區
敷島より萬石洞を經て仁川停車場に至るを三區とす

賃金は左の通とす
一市內線一區間一人に付　金五錢
一市外線一區間一人に付　金五錢
右賃金の高を以てすれば
仁川停車場より桐峴に至る　金十錢
敷島より萬石洞を經て仁川停車場に至る　金十五錢

運轉回數
市內線は左の通とす
一發車度數　毎十分時乃至十五分時
一運轉時間　午前七時より午後十一時迄
一日の運轉數　六十四回乃至九十六回
市外線にありては左の通とす
一發車度數　毎二十分時
一運轉時間　午前七時より午後十時迄
一日の運轉數　四十五回

京城刻下の金融

（京城日本人商業會議所調）

現下當京城に於ける金融狀況は頗る逼迫の狀態にあり毎年の例によれば既に新舊兩節季を經過し地方より資金の回收もあり一般緩和にして余り逼迫を告げざるを常とするに本年は昨年來引續き各地暴徒の爲め地方に於ける取引皆無にして其回收金甚だ尠なく亦銀貨暴落より來る支那貿易の不振米國經濟に於ける大恐慌の波動等幾多の影響を受け稍や多忙にして幾分逼迫の門に漸くにして兩節季を切拔けたる今日多少小康の觀を呈するならんと豫想したりしに而も依然として一般不景氣の狀態を免るる能はず加ふるに近時財政上より來る逼迫せる母國經濟界の波動を受け當地各銀行に於ける警戒緊縮と共に一層の逼迫を告げ何れも困難を感じ居るが如し

從來當地に於ける經濟狀態は母國經濟界の振不振に關し餘り深き關係なきが如くなりしも既に我國保護の下に萬事指導を受けつゝある今日に於ては其一擧一動悉く母國經濟界の大勢に支配せらるゝは亦た已むを得ざるなり故に今回の如く政府の財政方針が徒に不生產的事業に偏して膨脹を示し其增稅方法は一層民間の經濟を壓迫し產業の發達を阻害し不景氣なる經濟界をして益々不振に陷らしめんとす其影響は忽ち當地經濟界に波響し各銀行の金利引上げとなり又は警戒緊縮の態度を示すに至れり是れ現下に於ける金融市場をして逼迫を來したるの一因ならずんばあらず、亦た一面現市街に於ける土地賣買等の證明價格を調査するに昨一ヶ年に於て約百餘萬圓に達し居れり如斯在留邦人間に於て土地建物等不動產の爲めに大部分の資本を固定せしめたるの傾きなきにあらず故に今日の如く金融の逼迫を來し頗る警戒緊縮を見るの時に於ては忽ち是が關係を有する一部の經濟界をして多少の困難を感ずるに至り延て其影響する處亦た尠とせず

翻て韓人方面を見るに由來其生活狀態甚だ低く飽食遊惰而て世界の大勢に遲れ社界の進運に伴ふ能はず亦た商工業の如き生產的事業は萎微として更に見るべきものなく故に彼等の居住に於ける必需品の大部分は總て外國輸入品を以てせり然るに今や我國の指導啓發と共に長く舊態を持續する能はずして近來韓人の生活狀態に一大變化を來さんとするの傾向を示し年一年其程度を高むると共に輸入額を增加し近く卅九年に於て二千百餘萬圓四十年に於て二千三百餘萬圓の輸入超過を計上するに至れり是れ素より全部韓國側の費消のみにあらず在留邦人の費消も亦大なり以て其一斑を知るを得べし元來生產的輸出品皆無なる韓國に在りては如斯年々無限の輸入超過に對し到底耐ゆる處にあらず此際彼等に何か生產的事業を興ふにあらざる限り其資力は年々に減じ購買力を減ずるに至るや明なり而して又た地方に於ける暴徒の尚全く鎭定に至らざる是等の影響も隨て今日の不景氣を招きたるの一因ならん乎

以上の如く現下逼迫せる金融事情に對し銀行側に於ても其方針現狀維持の狀態にあるが如し故に一般實業家に在ても刻下に於ける不況なる金融逼迫は到底急速に是が恢復の見込なきを豫想し此際最も愼重なる自衛の方針を講じつゝあるものゝ如し

金融逼迫の影響

當地昨今の金融は不相變緊縮の姿なるが米豆の出廻りも面白からざれば從つて資金の需用も比較的增加せる摸樣なく又銀行側にても本邦金融逼迫の餘波を受けて確な向にあらざれば貸出さゞる有樣にて昨今の金融界は面白からざる傾向なり荷爲替も米豆の出廻薄にして且大阪安の爲內地向は非常に減少したれど大連向は比較的多き方なり預金は月末のことなれば何れ銀行も小口の引出は相應にありと又日歩は月初と變化なく三錢二厘位なれど稍強含みの氣味なりと

夢釜浦附近の賊徒

去る十三日黃海長淵郡夢金浦長山港附近に怪しき支那船停泊し居るとの報に接せしかば神谷伍長上等兵三名一隊となりて之が偵察に從事せしに甕津郡翁川面三里に於て賊徒首魁韓京玉なる者同郡交井中七里の李宅朱方に潜伏し居るとの密報を得しより早速同所に赴きしに突然屋內の一隅より四名の賊徒現はれ極力抵抗を試みしかば我は之に應戰せしに賊は西方の山中に潰走せしよりこれを追擊せしに終に同家を距る西方約十町の高地に於て其の二名を倒せり又十五日午後四時頃夢金浦に着せしかば直ちに如上の支那船を取調べしに別に怪むべきものなきを以て直ちに引揚げたり而して翌十六日午前四時頃長淵郡仙面鶴山領洞(甕津を距る西北方約十一里)金基浩方に宿泊中賊然十二時三十分頃約二十五名の賊徒夜襲し來りたるを以て我は直ちに之を應戰せしは賊は四散せりと

●咸平郡の討伐

全羅南道咸平郡大也面に暴徒來襲の報あり守備兵六名は韓人巡查二名を隨へ二月十六日咸平を發し行進中島山面道洞附近の山中にて暴徒約七十名と衝突し我は二手に分れて挾擊せしに敵は我の少數なるを侮りて容易に退却せず遂に突貫して四散せしめ急追擊せしも長城郡方面に逃走して其の蹤跡を失せり此の戰闘に於て敵の死者十三名銃器其他雜品數點を鹵獲し我一行は上等兵一名敵彈のため腹部に擦過傷を負ひたる外無事なり右賊の首魁は李焦士なりしが如し

●會議所役員會　日本人商業會議所に於ては一昨日午後七時より秋吉會頭初め中村、曾我、增田、林田の各役員列席し京城目下の金融狀態及び火災保險率の增加に就て協議する所ありたり

●電話加入者除名と補充　本月中仁川郵便局にて電話加入者の除名されたるもの八名ありしが其の讓受を申出づるもの非常に多く本日にては早や全部補充されたりと云ふ

●日韓婦人會　同會の春期例會は一昨日明進女學校に於て開催し綱島牧師を招聘して婦人教育に關する講話ありたり出席者は完興君夫人李址鎔夫人李宮相夫人趙夫人津輕伯夫人日韓兩國婦人の參席したるもの六十餘名なりしと

●組合敎會の韓國傳道　本邦組合敎會は今回韓國布敎に力を傾くる計畫にて目下綱島牧師は其等の準備視察として來韓中なりしが大凡用向を了へたれば本日出立すべしと聞く

近事片々

▲日本の對韓經營は權兵衛が種蒔きの如し公使領事は烏か統監府能く培養し得るや

▲三度に一度は刈ない者だ折角萌芽せんとする大和撫子能く培へ賴み升ぞや花守殿

▲印度の稀蒔海斯珍具廣雷武に農具や肥料を與へしビツトに些と擬り召れや花守殿

▲見よ田は色き稼入時は來る安閑時を過れば暴風雨來らむ玆等が鎌入時に非ざる乎

▲賴ふだれ方は兎角に臆病に在られ太郎冠者の袖を捕てやるまいぞ〳〵に困りて候

▲韓人の與相漸く了解せられて韓人尙は教ゆ可しとの議論は既に陳腐となれり然らば如何に處置するか之れ問題也此問題は拔本的活斷の先決問題に依りて定る

▲先決問題を斷ずれば萬事滔々として走らむ只當局に之を斷する勇なきを遺憾とす

▲雖然反響のある迄時ばむ精神一到金石徹何れの日か當局者覺醒諦悟の時來らむ哉

▲未製地條例發布せられて願出書二百餘通其中國有僅に四五跡は宮內府の者と異乎

▲斯事果して眞ならば其間拔さ加減呆れる決して粗漏と許す可らず何の辯解かある

▲皇城子韓人の仕官根性を毆す甚だ好し由來東洋は官憲萬能日本人亦弊あり可戒也

▲獨帝の土廷への勸告振り頗めき親切めかす所何時もながら上手能く立廻り召る

▲露國の獨逸に出拔かるゝや屢々伯林會議で露使憤死し今亦た巴爾幹に飜弄せらる

▲獨逸外交は火事盜的波斯にも猪口才を弄す迂濶すると髯の毛迄拔かるゝ用心肝要

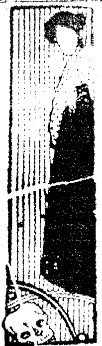
……西鄕警察署へ轉勤……秋……第一課に在勤し秋吉警部は元東京警視廳警部にして今回更に警部を拜命せしもの也と……出勤することなり

●露化韓人歸る　久しく露國に在留し[illegible]

●……支店長の快擧　第一銀行支店長大……[illegible]……自宅にて……下關……館に潜み居れりと……

婦人七人）重なるは宮内大臣李允用、承寧府……官尹澤榮、同尹德榮侍從院卿閔丙奭主殿院卿李議濟、警視副監具然壽、典膳司長金……鉉……運動費……計百四十……[illegible]

●天野喜之助氏（龍山理事官）昨日仁……知火旅館に投宿せり



地方より（續）　源右衛門

記者樣、私はなア忠淸道に居りますが、此邊はわらい暴徒が居りましてなア、油斷も隙もなりましねい、玆に一つ日本人の農場がありますだア、或日暴徒が襲ひ來るちうことでござりまして、私等怖くて巡査の駐在所へ行て保護して貰ふべいと思て行きましたら、日本の巡査も朝鮮巡査も居りましねい、仕方アないから畑に隱れました、その中暴徒は來て駐在所を燒打して行て仕舞ました、●ホット一息しましてなア駐在所の燒跡へ參りましたら、日本の巡査は平服でぼんやり出て來ました、跡で聞ますれば巡査は朝遲くまで女房さんと寢て居りますと暴徒の來る知らせで吃驚して、女房や子供を打捨て〻逃げだしたそうだ、女房は子供を連れて韓人の家に逃げ込み子供の口に手ケチを入れて泣かせねい樣にして隱れただア、なんとおれい巡査もあつたもんだ、朝鮮巡査は暴徒の知らせがあると直ぐ江景ちう所の日本守備隊に駈けつけたろうだ、却て朝鮮巡査の方が豪れいや、處で江景から守備隊は來たが、もう暴徒は居ねい、何時迄暴徒が迂路ついてるものか、其晩近所の山の上で燐火が見へる、さア大變だア、亦た暴徒が來たと云ふもんで日本兵隊はくり出した、暫くして鐵砲の音がしたと思ふたらすぐ止んだ、之も後で聞けば暴徒じやア無かつたとさ、此村の兩班の家で人が死んで其死骸の番人だとよ、一週間位は山に置て番をするのが習慣だそうな、之を暴徒と間違い五六人居た奴を三人打殺した、番人共吃驚仰天して逃げたとき、何と箆棒な噺じやねいか、そこで此兩班の家では非常に立腹して左樣な無理なことをすりや此方も暴徒になると、村中擧て暴徒の組に這入り逆も此邊にや居られねいから、私等命から〴〵江景ちう日本人の澤山居る所に逃げて來ましたゞア、なんとこれおやア丸で暴徒を拵へる樣なものだ、私等の考では、暴徒だつて人間だから其方法によりやア兵隊さんでなくても、巡査さんでなくとも鎭るべいと思ふ、今ん處ぢやアだん〳〵暴徒は殖る計りだ、斯う云ふ事だアから伊藤統監にも分るめい、聞けば統監府とやらには、給料を澤山取る御役人が多勢居なさうだが何をして居るだつぺい。（未完）

秋月菊の傳　其十八　蘇生

お菊は送り返さるゝ人力車の上に懸念と其日の出來事に思ひ惱みつ、元よりおさみと後闘のお女將の間に其樣な縺れが出來しと知る筈なければ自分に難はなけれども必に相違なし、然らずば日比彼れ程迄に目を掛け睨り呉れたりし女將が今日に限りてのみ此樣無慘な仕向けを仕給ふる[illegible]る筈なしと只一筋に思ひ詰め[illegible]女將さんが此の年月の情けをば仇で返した畜生にも劣つた奴と憤つて居でなさるであらう、又一つには自分の宅に歸つた所で母さんは彼した人故必ずとも撲ち打擲をもてもあろ、返らば何んと云ひ譯して何んと詫をはなすべきぞと思ひは二ツ、一筋に走る人力車の挽早く道程遠からぬ市作の住居の前に止めたる轍の音に折も折、一杯機嫌で市作の留守を戍りて子然と煙草を喫し居たるおとみは目敏く認めてオヤマアお菊人力車なんぞで威勢の善い美しいことだねと思ひの外の上機嫌も何んにも知らぬ爲めなるべく云はで叶はぬことなれば實は母さん何うした譯か今日限り御主人から暇を出されて歸りましたと云つたが最後何の樣な責折檻をされることやらと怖氣立ちたるお菊の耳には懷しげなるおとみの語調も百雷の鳴りはためく如聞きなされ額には應答ん勇氣も出でず只モジモジと店頭に立ち竦みたるを、まし伏目勝ちにお父さんはお居でぢやないのと問ひ掛くるをば打ち消す樣におとみはほゝと打ち笑ひお可笑な兒だよ此の人はお父さんが居ないかとてお母さんが居るではないかお父さんがお前の親ならおッ母さんとてお前の親、チッとも變りはないものを父さん許りを大騷ぎしてお母さんは何うして居てもお前は何んとも思はぬ樣など怨じ掛けしが心附き夫れは兎に角久し振りにおッ母さんにも抱かれて御覽と手を把り上に引き揚げられしお菊は一言濟みませんと云ふなりおとみの足元に兩手を突きて泣き伏したる樣から樣の有樣に何さは知らずおとみは慌て狼狽て何が何うして濟まないのか夫れも話さず濟みませんではおッ母さん迄何うして宜いか途方に暮れて仕舞うぢやないか全體何が濟まないのか夫れから話して聞かしてお呉れ縱令お前に何れ程の失策事があらうともお母さんも父さんも決してお前を咎めはせぬと抱かぬ計りに慰め勞り尋ぬるにお菊は涙の間より有りし始終を物語りしにおとみは夫れと氣取りしも色にも出さず雇んだ者が雇はれた人を都合で暇出すことが珍らしいことゝは思はれず又暇出されたとて必ずしも不都合のことあつたとも云はれもせぬ、假令不都合あつたにしても好んで出來した事でなければ暇を出された上からが自分の宅に歸つて來るに何の遠慮が要るものか長い間の氣兼苦勞嘸辛かつたであつたらうモウ今日からは母さんの側に寢起きをすると故安心をしと樂に相違のおとみの態度は其行末は知らねども一先づお菊は安堵の胸を撫で下しぬ

筆者云　おとみのお菊に對する所爲は一緒に長く居るとも[illegible]み蛟酷を極むる[illegible]一年も離れ居るとき[illegible]よおとみはお菊の身の上を案じ煩ふか常也、現れにても然り、然れば此の時のおとみの態度は即ち夫れの事實さなりて表れたるもの、一也、決して筆者の虛構にあらず、彼等を知れる人の善く知れる所也

●龍山疑獄事件の判決、　大村百藏外三名にかゝる官文書僞造變造行使事件は昨日理事廳裁判所に於て何れも本刑より二等を減せられ大村百藏は重禁錮二ケ年監視六ケ月木村稔白砂藤吉新屋龍夫の三名は重禁錮一年六ケ月監視六ケ月宛に處せられたるが何れも控訴するなるべし

●商取引者に注意す　豫て日本人商業會議所聯合會に於て議決し其の後同所に於て之が規約を設け勵行を期したる商取引支拂期日は最早明日より月も移りて之が支拂ひ期日毎月五日に迫り居るを以て各商店は各々拂ひ滯りのなきやう今より注意し置くべし

●龍山の公園計畫　龍山にては公園を設置せんと萬里倉にある孝昌園一帶の松林を貸與せられんことを宮内府財政整理局へ向ひ請願したりと

●孝行の頭に福宿る　大連市大山通りに大山湯といふ湯屋あり此湯の三助に石川縣の生れにて林平四郎といふ男あり元來親孝行の男なれど持つて生れた道樂に身を持ち崩し流れ〳〵て去る三十八年大連に渡り諸方を烏鷺つきしも捗々しき儲け口もなきまゝ遂に湯屋とまで成り下り主人大事と立ち働き給金の中より同地宏濟局にて發行する彩票を買ふを樂みとなし一度百圓を當てた事ありしが今回も又た第二十八次の彩票を買ひ求めまさか當りはしまいと何の氣もなく忘れ居りし處二十一日の夕刻お前に一萬圓が當つたぞと注意せられそれは大變だと直に宏濟局に飛んで行き張出しある番號表を見れば正しく當り居るに夢かとばかり打喜び餘りの嬉しさに橫ッ飛びをして主家に駈け戻るや否祝ひ酒をあほり翌日午前十時頃醉步蹣跚として宏濟局に躍り込み一萬圓を頂戴しますと申し込みしが何さま醉ふて居ることとて巡査の立會なくては渡さぬから暫く待てとて待たさせ置き一方警務局へ警官の出張を乞ひたるに平四郎は待ち居る内も嬉しさに堪すア、コリヤ〳〵と手拍子打つて踊り出し故郷に二十六年も見ざる母さまが御座るから母親に逢ひ度一萬圓を土産にして親孝行をするのだと夢中になつて騷ぎたりとはさもあるべし

●白晝强盜逮捕　去る十九日午後四時中署典洞安晩來方に五名の强盜押入り家人を脅迫し金銀器具及衣類數點代價二百餘圓を强奪逃走せし强賊あり訊問係に於て專ら搜索中二十六日正午十二時怪むべき男目近の銀房にて之が賣却を試みたる旨探知し直に八方に手を廻はし遂に本町四丁目に於て服裝美麗なる一人の韓人を逮捕し住所氏名を尋ねるに忠淸南道安眠島平民農商學李（三十）なる旨申立つにより身体檢査を爲したる處安眠來方の被害告たる純金、銀（一代價百餘圓）を携帶するにより訊問係に引致し取調たる處强情にして少しも犯情を自白せず依て被害者を召喚し之を示したるに自分の被害品に相違なきのみならず此男は正しく十九日自分方へ侵入せし强賊の一人に相違なき旨申立つるに拘はらず尙强情を主張するに付種々糺問の末遂に犯狀を自白し目下共犯者の逮捕及び賍物發見に付手配中なりと云ふ

●預り物をごまかす　壽町二丁目下宿屋日章館に滯在する北海道函館區元町在籍の釣谷榮太郎（三十）は舊臘二日當地理事廳に於て委託物費消罪により一ケ月の處分を受け滿期出獄せし者なるが去る八日豫て知合の南大門通二丁目櫻家旅館に宿泊中の川井鶴次の所有にかゝる七子織の紋付羽織二枚外九點代二百八十六圓の保管方を委託せられ保管中なりしが十二日所有者に無斷にて本町七丁目の百田質店に羽織二枚を二十圓に入質し又十四日壽町栗林質店へ袷二枚を五圓に入質し十七日同店へ袷一枚外二點を十圓にて入質し十一日栗林質店へ仙台平の袴一枚を七圓にて入質し十九日壽町の某質店へ襦袢二枚單物一枚を七圓に入質し其の金は總て費消し十九日下宿屋を逃走し同夜日出町一丁目大久保寅吉方に潜伏し居るを坂本川野兩刑事に探知せられ逮捕されたり

●他人の土地をちやばる　南山町三丁目の岡實太郎が東大門通二丁目支田廣藏所有の本町七丁目の宅地境界を侵したりとて廣藏より其筋の檢査を請ひしが其後如何せしや

●仁川敷島より　高砂樓の都、須磨、兵庫の三艦は先月中より日本醬油會社の水屋とか兒玉とか何とか云ふ男に熱くなつて衣類まで質入れして身上りし果ては夫婦の約束までもした間柄なるが男の心は變り易いもので近頃は敷島支店へ河岸を變へ高砂樓へは尻も向ぬにぞ三艦はボカンとなり今頃は大醉ぎの体なりと▲同樓の仙臺艦は顏も好し愛嬌もよく客に好かれる性なれど此頃は船渠で修繕中なりと▲日光艦は女面女夜叉で顏は好ければ義理も人情も知らない女であんまりだと評判甚だ惡し▲二見艦がた職ざいふ旗艦になつたのに就ては大に理由があるとのこと夫れは一度來た人でも手紙を送るやら寫眞をやるやら仲々の親切者であんなことは他の者には眞似の出來ぬことだとの評判▲深川樓の梁は若いものにも年老にも拘らず客を大事にするさうです▲第二高砂樓の大梁は客を粗末にするから客が來なくなつて遂には口が乾上るやうになるだらう▲敷島樓の末子と支店の食子よッン[illegible]ことしてるから偶ま來る客も外に行くので[illegible]これも又[illegible]になるであらう

祝支店開設一週年大賣出し
來る二十四日より向十日間

景品總額參百圓
●ボックスカーフ長靴 三足 價格九十圓
●同 深ゴム靴 五足 價格四十圓
●同 編上靴 五足 價格四十圓
●キット 編上靴 五足 價格五十圓
●同 深ゴム靴 五足 價格五十圓
●其他 以下略す

正札より一割引
景品券一圓毎に一葉進呈す

京城本町六丁目 富田支店

開店廣告

愈々發展愈確實

營業種目
○船來品直輸入販賣
○石炭大元卸
○鐵道貨物運送及配達
○諸官衙御用買次
○委托品及特約品販賣
○買次業

日韓貿易株式會社京城出張所
南大門外古市町 電話九四五
本店 仁川日本居留地 電話七四三
支店 大阪西長堀南通 電話一二六六

一各種石炭大販賣
大の浦塊炭
豆田塊炭
大辻塊炭
ストーブ用として右三種取寄せ貯炭罷在り御希望に從ひ多少に拘はらず迅速御屆け可申上候
三池粉炭
鍛冶用として貯炭罷在り多少に係はらず御用に應し可申候
當社一手販賣炭左之通り
三池、田川、伊田、山野、金田、豆田、津波黑、藤棚本洞、大の浦五尺、大の浦三尺、笹原、滿の浦芳雄、大辻、白岩、柚木原、岸嶽等

三井物産合名會社
京城出張所 (電話二十六番)
仁川出張所 (電話六十三番)

諸官衙御用品調達
各學校用品調達

營業科目
紙類書籍
印刷附屬品
印刷インキ
防腐ヂシン
穀物食鹽
織物染料

并に委托販賣

東京 合資會社アライアンス商會代理店
横濱 百七番 ビューイエンドライフ商會代理店
濟物浦 六番 (同)
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店

藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京京橋區南鍋町二丁目 電話新橋三九六二番

本店 東京市日本橋區兜町
內地支店 大阪、京都、横濱、神戸、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東京新大阪町
及出張所
韓國支店 仁川、釜山、元山、鎭南浦、木浦、群山、馬山、鏡城
及出張所 平壤、大邱、開城、城津、咸興
清國出張所 安東縣

株式會社第一銀行韓國總支店

電話番號 營業部 一一番 國庫部 六一番
當用部 同 二一番 用度係 六二番
營業部 三一番 分拆所 六三番

總支配人 市原盛宏
副支配人國庫部長 三島太郎
副支配人調査部長 竹山純平
副支配人營業部長 木村雄次

齒科全般の治療
米國最新式義齒
京城本町六丁目 (敵そば横町)
米國齒科醫學博士 女醫 中村安子

齒科診療
漢城病院を辭して開業す
此段辱知諸君に告く
前東京醫科大學勤務 統監府囑託 飯塚徹
東京共立齒科醫學校講師たりし 藤井庄次郎 氏を仁川分診所主任として聘す
京城診療所 南山町三丁目第一銀行横五軒目
仁川分診所 仁川病院前の角 毎五、十日出張
診療時間 午前八時より午後四時迄 夜間七時より八時迄 毎五、十日京城新來休診

韓國京城
株式會社大韓天一銀行
電話五五八番

銀行一般の業務精々御便利に御取扱可申候
資本金三百万圓
本店 大阪市西區北堀江通五丁目
支店 釜山、仁川、平壤、鎭南浦、安東縣
株式會社第五十八銀行京城支店
(電話五八番)

爲替取組先
東海道	二十七ヶ所	
山陽道	十三ヶ所	
南海道	七十五ヶ所	
北海道	二十三ヶ所	
臺灣	五ヶ所	
東海道	二十八ヶ所	
北陸道	十三ヶ所	
山陰道	三十三ヶ所	
西海道	九ヶ所	
韓國	十一ヶ所	
清國	二ヶ所	

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 八百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓
本店 長崎市築町
支店出張所 京城、仁川、木浦、群山、釜山、元山、龍山、濟州
株式會社十八銀行京城支店
京城南大門通(電話四二〇)
其他日本韓國樞要地及露領浦鹽に爲替取引先あり
日本 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候 (利息日歩壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店 (十八銀行京城支店)

營業科目
土地家屋鑛山山林賣買貸借ノ仲介
土地家屋鑛山山林測量製圖應依賴
灌漑排水事業設計應依賴
土地整理並丈量應依賴
鑛山未墾地出願代辨
土地家屋證明願買手續代辨
外國旅券出願代辨
新聞廣告取次
電話賣買取次
韓國に關する圖書雜誌閲覽
韓國に關する非賣出版書閲覽
韓國に關する本社調査書類閲覽
商品依託持約代理店ノ仲介

▲弊社は誠實秘密且敏速に業務を營む
●宅地及韓人家屋の賣物あり
●商店向其他の貸家あり
●鑛山の賣物あり
●耕地未耕地の賣物あり
▲弊社は各方面に渉り各事項を調査す
本社 京城永樂町一丁目八番戶假事務所
京城仲介社

支社
東京	東京麹町區富士見町	伊藤豐次郎
大阪	尼ヶ崎字宮町	由比昌太郎
仁川	仁川新町一丁目	遠藤喜一平
釜山	釜山入江町一丁目	加納佐一
木浦	木浦山手通三丁目	谷垣嘉市
鎭南浦	鎭南浦西二丁目	古田稻市
開城	開城西部	今福又三
水原	水原南門內	川口直三郎
元山	元山居留地	菅鶴平
鏡城	鏡城北門內	菅鶴平支店
平壤	平壤大和町	佐久間賓次郎
大邱	大邱東門外	稻本新臣
龍山	龍山元町	吉岡一作

極材木、竹類、鑛灰
座敷廻り諸材料特に注意取揃あり
右本年は多額輸入可仕特別廉價販賣仕候間多少に不拘御用命願上候
小森材木部
京城旭町一丁目 電話七四四番 本宅四〇五番

熊平製造金庫
東京 竹內製金庫
大阪 二重瓶並ニ回轉式 消火器
韓國販賣部
京城本町一丁目
熊平商店
電話六二四番

蹄鐵販賣
裝蹄々釘
蹄鐵工裝蹄
免許人
乘馬用は別に定價表あり御依賴に應ずべし
氷上蹄鐵並裝蹄共 金六十錢
尋常蹄鐵裝蹄共 金四十錢
大勉強候也 當分の內御用相勸申
京城長谷川町一丁目四十二番
阿部合名會社出張所裝蹄部

每月廿八日一割引
名物 二八饅頭 一名一口饅頭 一錢に四つ
御菓子製造大勉強
京城本町六丁目 二八堂

會席御料理並に仕出し
西小門內 横濱亭

內外婦人科
每日午後より種痘施行
南山町二丁目 植村病院 (電話三三〇)

▲貨物本船積卸
▲龍山行其他近海運送
右の外艀に關する一般の事務
仁川港仲町一丁目 福 福島組 (電話五三五番)
同 波戶場出張所 (電話五四二番)

本店 仁川理事廳通 (電話三三二番)
支店 京城南山町 (電話一〇七番)
原金旅館

興信事務及未墾地鑛山測量並設計土地家屋等之紹介諸種之調査及鑑定之取次廣告之取次
(業務、迅速、取扱)
京城興信所 支局
京城旭町一丁目民團役所向角

日本郵船株式會社仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕會 電話三九番
京城南大門通 巴商店 電話三〇六番
電話十番

航路	船名	日時	時刻
●釜山長崎門司神戶行	山東丸	三月十五日	後三時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行	第一オハヨ號	三月四日	後三時出
	劍路丸	三月六日	後三時出
●大連、大沽行	高砂丸	三月五日	後一時出
	山東丸	三月五日	前九時出
●大連、大沽、牛莊行	酒田丸	三月十九日	後一時出
||鎭南浦行	第一オハヨ號三	三月二日	後三時出
●釜山出帆、元山行	弘前丸	二月廿六日	

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ稅關ノ際ヲ解纜ス